



継続こそ・力なり!!
子育て世代の声を市政へ!!

未来の八潮・子どものために…
和宏のほっとかない!!
NEWS
vol.39〈6月議会報告〉

編集・発行

あさだ和宏を育てる会
会長 落合 利治
編集長 中井 欣也

〒340-0821 八潮市伊勢野306
TEL 048(995)0135
FAX 048(996)4361

●発行日 平成22年7月●

討議資料

子供に
ツケを
まわさない!



プロフィール

1968年 3月28日
八潮市に生まれる(現在42歳)
市立大瀬小(八小)大原中(二中)を卒業
私立成立学園(商業科)を卒業
01年 (社)八潮青年会議所理事長
(青年会議所の事業を通して、
政治のあり方・教育問題に関心を持つ)
01年 9月市議選に立候補
(最年少候補(当時)33歳)
1229票12位当選
05年 9月
2度目の市議選に立候補(37歳)
1415票9位当選
09年 9月
3度目の市議選に立候補(41歳)
1733票3位当選
現在、3期目(民主・市民クラブ)
専修大学 法学部(2部)現在3年生

所属団体

地方政治改革ネット 会員
青年地方議員の会 会員

ホームページ

あさだ和宏

検索

皆さん、こんにちは～!

連日、梅雨時特有の蒸し暑い日々が続いていますがいかがお過ごしでしょうか。
この時期、不快に感じることもありますが、気持ちは前向きに、爽やかな気持ちで一日一日を過ごしましょう!そうすれば、必ず「良いこと」があると思います。
梅雨明けしたら今度は暑さとの闘い?の本格的な夏がやってきます。
どうぞ、皆様もお体には十分気をつけてお過ごし下さい。
さて、参議院議員選挙が終わりました。選挙結果はどうだったでしょうか?
(原稿の締切りの関係で、「ほっとかない NEWS」が発行された時には、結果が出ていますが・・・)

結果はどうであれ、大切なのは「議員」に当選してから「何をするか」が大切だと思います。選挙の時だけ耳障りの良い「美辞麗句」ばかりを並べておいて当選したらあとは「知らない」では困ります。

国政選挙は終わりましたが、来年の春には「統一地方選挙」(本市は県議会議員選挙)が行われる予定です。

政局もまだまだ不安定な時期が続くと思いますが、私自身は「市議会議員」としての任務をしっかりと果たして、皆様から、さらに信頼される議員になれるように努力してまいりますのでご指導をよろしくお願いします。

6月議会が開かれました。

主な内容…一般会計補正予算 8,498,000円(追加補正)

(主な理由…国保特別会計へ繰り出し)

その他、15議案

◎請願書…八潮市八条地区に係る早期土地活用実現のための手法の見直しに関する請願書

賛成…(自民クラブ、公明党)

反対…(民主・市民クラブ、共産党、市民と市政をつなぐ会)

※私たち会派は、請願の趣旨には一定の理解を示していますが、今回の議会で早急に結論を出すのではなく、時間をかけて慎重に審議をするべきという理由から「継続審査」をお願いしましたが、結論は賛成多数で採択という結果になりました。

八潮市議会議員 あさだ和宏

お知らせ

今年の夏休み中に、中川小学校・八幡中学校の耐震工事・大規模改修工事が始まります。
(新学期からは、綺麗になった教室で勉強できますね!)

工事費用 中川小・・・3億843万8,550円

八幡中・・・4億2,525万円

IS値・・・中川小(0.28→0.78)

八幡中(0.245→0.751)

この2校の耐震化工事が完了すると、市内小中学校の耐震化率「47.4%」になります。

(まだ半分残っていますので、急がないと)

一般質問

町会・自治会加入促進条例について

Q 市長の選挙公約中、「4年間でゴール」の部分で、「(仮称)町会・自治会加入促進条例を制定し…」と明記されていますが、制定の意義、制定までのスケジュール等は今後、どのように進めていくのかお尋ねします。

A 平成24年度中の条例案の上程を目標としている。22、23年度は町会自治会長の方々のご意見を聞き、慎重に検討していきます。

●和宏の考え・意見

【和宏】

本市でも町会・自治会の加入率が減少傾向(10年前は80・7%、現在は64・3%)となっており、このままでは自治会運営に支障をきたすことも予想されます。その一つの解決策としての条例制定ですが、任意団体である町会・自治会への強制加入させる規定は難しく、条例を先駆的に検討している自治体でも、条例を制定した場合の実効性の担保が課題となっていると聞いています。

再質問では、仮に条例が制定された場合、市民の皆さんが条例の趣旨を理解していないと、自治会等へ加入しない方々へ「差別」や「偏見」が起る可能性もあり、その点について慎重に取り扱うように提言しました。

市民団体と行政のあり方について

Q 現在、本市でも多くの市民団体の事務局が市役所内にあり担当職員が本来の業務以外とは別に事務作業をしているケースがありますが、今後は団

体の自立性・自主性を考慮するとそれぞれの団体に事務処理等の作業をおこなってもらう必要があると考えますが、市の考えをお尋ねします。

A 本市では、行政の公平性の確保や団体の自主性を促進する観点から、平成12年度の「八潮市における団体事務への従事に関する方針」を策定しました。今後も方針に基づき、団体の自主性の確立に向けた協議を進めるように周知を図っていく。

Q その団体の中で、担当職員が直接お金を扱うケースや預金通帳や印鑑などを預かっているケースは何団体あるのか。

A 平成22年度4月現在、市が何らかの関与をしている団体は59団体あり、その内、担当職員が会計事務に従事している団体は29団体あります。

●和宏の考え・意見

【和宏】

過去の一般質問等で、市民団体への補助金等の見直し・再検討について質問をした経緯があります。今回は、団体と行政の関与について質問をしました。

確かに、過去には市民団体を設立した際には、市側が市民にお願いをして設立した団体も数多くあると聞いています。しかし、その中には、当初の目的を達成した団体もあると感じています。であるならば、この財政難と職員の負担を考慮すれば、団体と行政とのあり方を見直す時期だと考えます。

答弁では、「指針」を作成したとのことですが、再質問で「指針を周知させたあと、その後はどうなったか調査はしたか」と

問いただきました。答弁では「改めて調査はしなかった」とのことです。(何事も、チェックが肝心です)

そして、一部の団体では1,000万円を超える預金通帳を職員が扱っていることが「判明」しました。金額の大小ではありませんが、担当職員が、金銭や預金通帳等を扱うことは「不適切」であり、早急に改善するように提言しました。

県立高校入試制度について

Q 昨年度から県立高校入試制度が大幅に変更となりました。現制度について中学校の現場(担当教員等)からどのような感想があったのか(メリット・デメリット両面)

A メリット面は前期・後期ともに学力検査を実施したことにより、以前よりも生徒がしっかりと勉強に取り組むようになった。検査日が遅くなった事で、学校は3学期の授業時間を十分に確保できた。

デメリット面は、後期募集の募集人員が少なく、高倍率が予想され生徒が明確な目的意識を持って第1志望の高校を受験できなかった。

●和宏の考え・意見

【和宏】

入試制度が変更となった初年度ということもあり、学校の現場や生徒・保護者側からは不安の声を多く聞かれました。もちろんこの制度は埼玉県全体の制度であり、「自治体としてどうすることも出来ない事は理解していますが、本市の場合、県立高校への進学する率が高い(平成21年は72・5%)状況であり、教育委員会としても、県教委へ「意見」を伝えるべき

だと考えます。折りしも、平成24年度に実施される入試制度からは、前期・後期期制度が撤廃され「1回」の制度へと変更となる予定です。(34年ぶり)

その際も、様々な課題が露出する可能性も考えられるので、教育委員会として県の動向等、注視して早急に対応するように提言をしました。

(仮称)新中川橋開業イベントについて

Q (仮称)新中川橋がほぼ完成し、市民の皆さんから開通時期について多く問い合わせがあります。さて、橋が開通する際に、対岸側の三郷市や埼玉県と連携し、開通イベントを実施してはどうかと考えますが、市としての考えをお尋ねします。

A 開通イベントは、県内他施設の記念式典事例を参考に、今後、八潮、三郷、両市で協議を重ねていく。

●和宏の考え・意見

【和宏】

橋の開業は、頻繁にあるものではありません。であるならば、今までとはちょっと違うイベントを実施してはどうかと考えます。

例えば、橋全体をイベント会場にして(ブレイベントとして)八潮・三郷B級グルメ対決、ふるさと物産展、市民対抗ジャンボ綱引き大会など…

ちよつと視点を変える事で、「メディア」等にも取り上げられて、自治体のPRにも繋がると考えますが…。



お忙しい中、お越しいただき
ありがとうございました(32名)

6月議会は、朝田議員の属する建設水道常任委員会です。市内北部地域の開発に関連した内容の請願が出ており、副委員長として「継続審査」にすべきではないかと結論を出しましたが、それに対しての採決が行われ、最終的には採択という結果に。委員会メンバーを見ても最初から結果はわかっていましたね(笑)

さて、肝心な一般質問ですが、質疑・答弁のストーリーが出来上がっていた議員もいれば、実効性等調査研究もしないで思いつきでする議員もいた中、朝田議員の一般質問は地に足がついており、一際目立ちましたね。特に他人事のような執行部の対応を正す「市民団体と行政のあり方」についての質疑は市民の意を得たと感じました。本当はもっと時間をかけてじっくり議論してほしかったのですが、なにぶん八潮市議会は質疑・答弁1タールの60分。

早く議員一人の持ち時間30～40分になるよう議会改革を願っています。



◎育てる会、親睦・日帰り旅行開催される。



<1号車>



<2号車>



<3号車>

6月6日(日曜)毎年恒例の「育てる会親睦旅行」が開催され、総勢140名(バス3台)のご参加をいただきました。(感謝です!)

今年は地元「埼玉」をもっと知ろうという企画で秩父方面の旅行となりました。近年雨男(議員?)の力でぐずついた天候でしたが、最近の議員の行いの良さ?から朝から大変良い天気にも恵まれました。

八潮を出発し、新緑のまぶしい秩父に到着、地酒の造り酒屋の見学、勇壮な秩父夜祭会館を見学し、秩父地場産センターで参加者が一同に会しての昼食、地元の名産をいただきました。その後、しいたけ狩りを行い、山の幸を堪能しました。帰路、今大人気の花園フォレストでスイーツの買い物をして、夕刻無事八潮に到着いたしました。

今回、事務局の不手際で市内イベントと日程が重なってしまい、「毎年参加しているけど、どうしても参加出来ない」という方が多数いらっしゃいました。大変申し訳ありませんでした。今後は市内のイベントと調整を行い、日程調整を行ってまいりますので、来年の皆様のご参加お待ちしております。



報告 小櫃

○埼玉県知事・上田きよし氏による「上田政治塾」に参加しました。

県内の20代～40代を中心に約80名の「塾生」でスタートしました。

上田知事の講演では、リーダーの条件として「虫の目」だけで見がちな行政に対して、「鳥の目」「魚の目」の2つの「目」をしっかりと持たなくてはならないというお話と、「やったふり」をする行政に対して、きちんと現状がどうなっているのか、結果はどうなったか、チェックをすることの重要性のお話。赤字を苦しめない行政に対して、赤字を苦しめながら行政を運営していく必要性のお話があり大変興味深く、拝聴しました。

勉強会終了後は、参加した仲間達と夜遅くまで語り合い親睦・交流を深めました。

(次回開催は9月を予定)



◎議会運営委員会・視察の報告



改選後、新しくなった「議会運営委員会」の行政視察を実施、福島県・会津若松市議会、同伊達市議会へ議会改革について調査しました。

特に、会津若松市議会は、全国でもトップクラスの議会改革の先進地ということもあり、今後、本市の議会改革を推進するために参考になる事例が多くありました。この視察で、「議会の必要性」「議会の重要性」を、参加した委員とともに再認識することが出来たと感じています。

和宏の独り言… ～「無駄」と思わずに、やってみよう!～

最近、学生と会話をしていると「それって無駄じゃない?」「何か得するの」という会話を頻繁に聞くことがあります。特に、自分達には直接関係ないことに関しては「興味なし」というケースが多いようです。

(確かに私も同世代の頃は一緒だったかも・・・)

この事は先日、ある新聞の記事で、とある大学の学長さんがこのようなことを記していました。

「最近の学生は無駄と見た・思ったことを避けたがる傾向が強い、しかし、一見すると無駄と思うことをやることによって、様々な価値観が生まれ、その価値観と自分自身が、ぶつかることで人間としての「幅」が生まれる(広がる)」確かに、私自身も振り返ってみると、20代に先輩から「やってみろ」と半ば強制され渋々やったふりをしました。

(その時は、なんでこんな無駄なことを…と思いました)

しかし、社会で生活する中で、意外にも「無駄」と思っていたことが役に立つ事が多々あります。

「無駄」は一見、遠回りをするように感じますが、知らないうちに人間としての「幅」が広がっているのではないのでしょうか。

「事業仕分け」では「無駄」と簡単に切り捨てる事が出来ますが、人生の中で「無駄」も将来、大きな壁に当たったときに乗り越えられる原動力になるかも知れません。

私自身、これからも「無駄かな?」と思わずに積極的にチャレンジしていきたいと思います。

是非、皆さんも「視点」を変えて「チャレンジ」してみたいはいかがでしょうか・・・

★編集後記★

きんやのボヤキ



「投票は何回目」

こんにちは、きんやです。

みなさんは、今回の参議院選挙で何回目の投票となりますか?

私は、これで18回目(市議会議員選挙を含む)ぐらいになるでしょうか。

今回の選挙は、各政党が挙げて問題点を批判するのはいいですが、その意図はうまく伝わってきませんでした。本当に解決しようとしているのか、疑問に思いました。

野党は、与党打倒の大きなチャンスになっていたことは間違いありませんが、有権者(国民)に対して、分かりやすい政策で説明をする努力が少し足りなかったと感じています。

八潮市でも、政策作りに切磋琢磨して、議会で議論・協議を行って、しっかりとした市政運営を今後も進めていきたいと思います。

議員3期目となった朝田議員には基本方針を変えることなく、何事に対しても質実で積極的な活動することを期待します。

いよいよ、「和宏のほっとかないNEWS」も次号は節目となる「第40号」となります。議員と共に力を合わせ、育てる会も日々、「向上」「進化」しながら成長していきたいと思っています。

